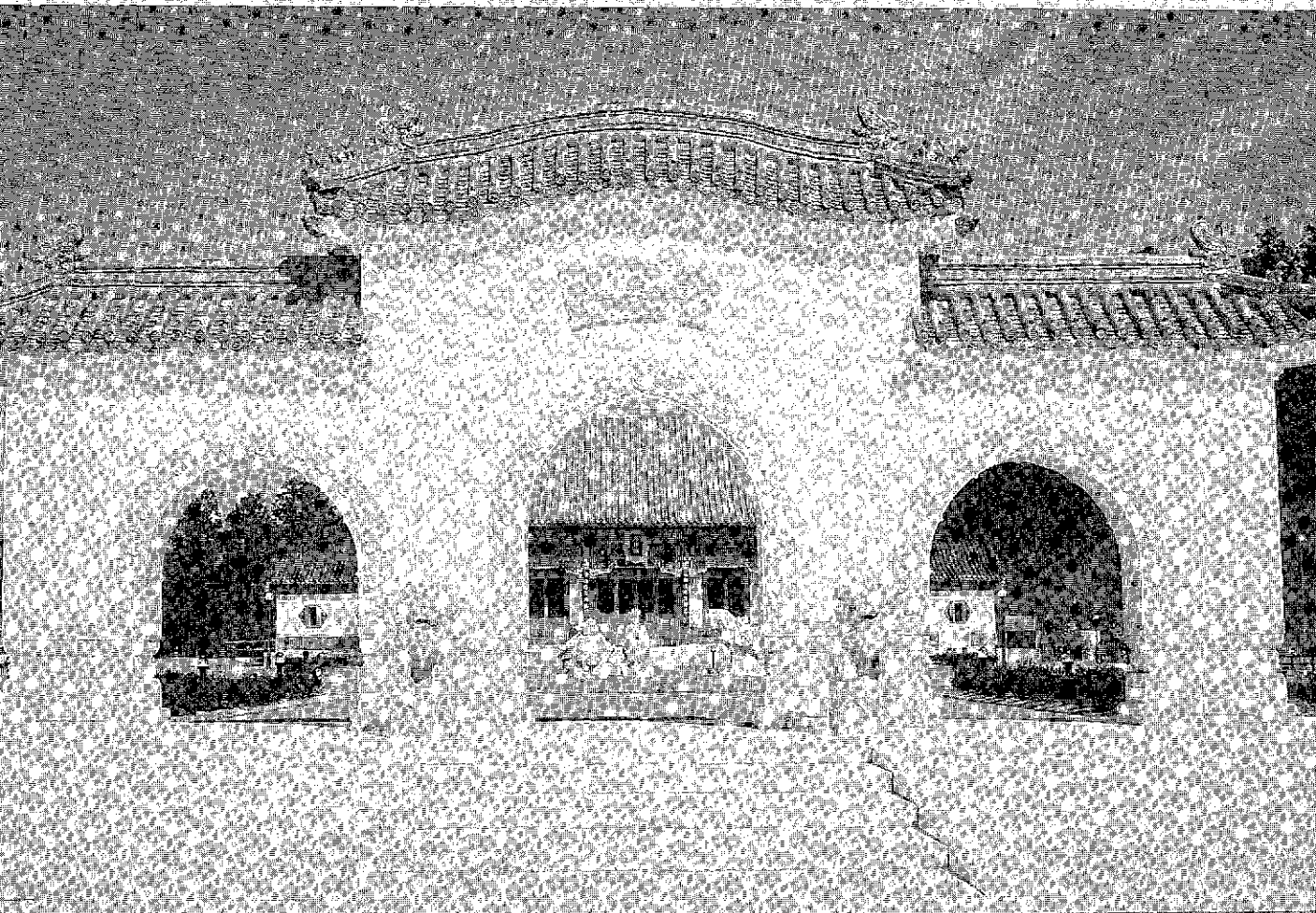


新潟県

# 公民館月報 12

平成9年12月号 通巻第538号



表紙 西山ふるさと公苑「西遊館」  
(西山町公民館)

## 特集 人権・同和教育の紹介

視 点 若者を知り若者と共に

ひろげ 価値観を生かす

実践記録 良寛講座

サークル交流 遊びの達人委員会(豊栄市)

やまがら会(三川村)

素顔拝見 櫻沢秀子様(十日町市公民館)

梨本りよ子様(牧村教育委員会)



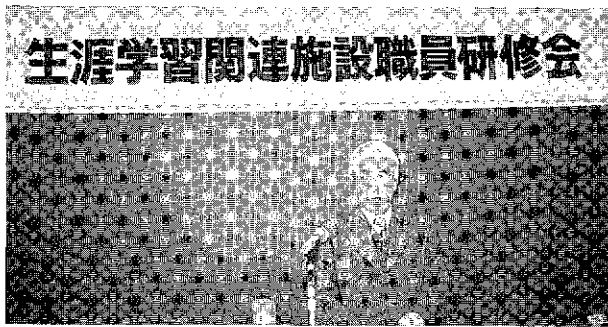
平成 9 年度第 3 回生涯学習関連施設等職員研修会開催される

# 『今後の社会教育のありべき姿を探る』

## 共催 新潟県立生涯学習推進センター

生涯学習関連施設職員が相互に、県民の多様な学習ニーズに応えられるようにするために、施設間並びに職員相互のネットワークを構築する、という趣旨のもと、10月21日(火)、県立生涯学習推進センター大研修室で開催された。

公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等の職員、並びに公民館運営審議会委員等約30名の学習意欲あふれる人たちが参加された。



# 生涯学習関連施設職員研修会

迫力あふれる伊藤先生のご講義

加し、終日研修を深めた。午前の研修1「住民にとって魅力ある施設運営を考える」と題して、最初に豊栄市博物館長清水重蔵様が、社会教育を担当しながら自ら学び企画・実践したことについて、実体験を踏まえて説得力のある事例発表された。

次いで、新潟市東地区公民館長の梶瑤子様が、「生涯学習と公民館」——通船川再生への取組みから——と、具体的な課題のもと、豊富な資料と広報「通船川ニュース」を活用して、分かり易く事例発表された。

その後、お二人も参加されての研究協議では、活発な討議が展開され、また適切かつ実践的な助言をいただきながら内容を深めることができた。

午後の研修2「21世紀の社会教育はどうあるべきか」と題して、東京家政大学教授伊藤俊夫先生の、歯切れ良く、具体例を交えての迫力あるお話は、時間を忘れて聴取することができた。

主な講義内容(骨子のみ)  
1、基本的な課題 (1)生涯学習

- をいかに支えるか、(2)規制緩和・地方分権・行政改革にいかに対応するか。
- 2、生涯学習の展開 (1)教育改革としての生涯学習、(2)学習支援としての生涯学習
- 3、教育改革としての生涯学習 (1)水平的統合理念による学校改革、(2)垂直的統合理念による学校改革、(3)内容的統合理念による学校改革
- 4、学習支援としての生涯学習 (1)知識学習としての生涯学習 (2)職業教育・訓練としての生涯学習 (3)学歴弊害解消策としての生涯学習 (4)生きがい追求としての生涯学習 (5)心の潤いとしての生涯学習 (6)社会形成としての生涯学習
- 5、規制緩和と社会教育 (1)公民館の運営審議会、館長、職員配置、(2)図書館の図書館協議会、館長、職員配置、(3)博物館の博物館協議会、職員配置、(4)法改正の意味と効用 以上
- 最後の5の規制緩和の問題は、地方分権委の勧告とリストラがらみで、大変興味深く、しかも関心をもって聴くことができたのが良かった。

## 祝、叙勲・功労表彰

◆秋の叙勲  
勲五等瑞宝章(地方自治功労)  
元県公連会会長 安 沢 純 正 様  
安沢様は、昭35～38まで県公連会長として、また昭35～36まで関プロ公連会長として、県公連の現川西町公民館長の保坂様が永年にわたり、体育指導委員として地域の

◆平成九年度文部大臣賞(社会体育)  
保 坂 国 夫 様  
スポーツ振興に大変寄与された功労で、今回文部大臣表彰をめでたく受章された。

◆平成九年度県教育功労(社会教育)  
上 村 捨二郎 様  
県公連前事務局長、上村様が、今回社会教育面の業績・功績を評価さ

## 祝、団体、グループ表彰

◆全国優良公民館表彰  
新潟市中地区公民館  
が、今年度全国優良公民館に選ばれ、文部大臣表彰受賞の栄に浴した。

◆総務庁長官賞受賞  
新潟市石山地区公民館メンズクッキングクラブ  
今年度「心豊かな長寿社会を考える国民の集い」ブロック別大会で、

◆新潟市中地区公民館  
おなみに同公民館の活動を紹介してみると、地区内小・中学生を対象とした「少年の主張大会」「チャレンジスクール」等を開催、青少年の健全育成に貢献したユニークな活動が浮かび上がり、また、住民と公民館が一体となって事業推進する姿が評価されたものと考えられる。

関東甲信越静公運理事会

会議報告抄 ④

会長 今井昭友



方公共団体の自主的判断に委ねる方向での見直し(社教法28条2項) ↓意見聴取は存続確保すること、②公民館運営審議会の必置規定廃止方向での見直し(29条1項) ↓必置制の遵守、

第20回全国公民館研究会が富山市で開かれている10月23日、理事会が招集された。

を発する。この前段としては9年度から社会教育施設に対する国庫補助の打切りが出された。これは、都市部では他の施設があるからカバーされるとしても農村部にとっては深刻な打撃を受けたとの声しきり。これらの危機感から緊急提案となった。

議題は社会教育法見直しの中で、①全国公民館連合会への要請及び応援、②今後の取組が論議された。このことは、今年7月8日、国の地方分権推進委員会から勧告が出されたことに端

際しての公運審の意見聴取を地

身の開が求められることになった。

視 点

私、公

民館や勤労青少年ホーム等の関係から、多くの若者と接する機会に恵まれ、人

た若者が、これからの

とここで、我々先輩者が何人か寄ると、「今の若い者は、どうも……」と、批判しがち

若者を知り若者と共に

山 川 資 郎

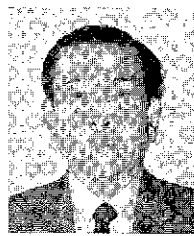
意欲が大きく変化し、組織や集団等のために、自分を犠牲にすることを避け、個を生かそうとする傾向にあるとも言われている。

当市に対して、次のような意見を述べている。(今、市に望むこと) ○若者がUターンできるような職場や職種を多くして欲しい。 ○若者の意見を聴いていかなければならな

若者の理解に努め、共に歩み続けたいと思う。(糸魚川市中央公民館 長)

価値観を生かす

牧村社教委員・公運審委員 渡邊 一正

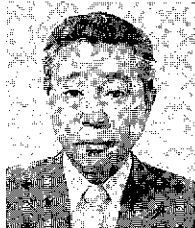


前号 喜び・嬉しさを「たらす」として読み進めたい。ただ、たぐひなく、市民のニーズは多種多様であるけれど、自己の生涯学習は地域の活性化につながる。前掲のもとに結集できると思われ。私達の村でも、文化協会発足以来5年の経過があり、20数余の活動グループが自主的運営で取組み、いくつかのイベントの中で発表があり、グループ独自の研修をもっているが、村の人口比からみれば2割の域を脱していない。働き盛りの青壮年の参加が望まれるところである。

然し、そう言うものの参加の輪に加わりたいが暇はなしと言う人の如何に多いかは私どもの地域の者ばかりだろうか。仕事人間・会社人間の数の多いのは論をまたない。働く人達にどう呼びかけたら参加して貰えるかが生涯学習・地域活性化のための大きな鍵となっている。

さて方策は、となると難しい問題である。「ゆとりある充実した地域社会の構築を」という呼びかけ、「新しい交流・交換のはじまりで、今までに得られない

中山間地域に在る私産の村は農業が大半で、肉体的労働の緩和に成果はあるものの厳しい状況である。このような環境における生涯学習を促すのは容易でないが、前述したように地域社会教育促進の最大課題は、青年の参加である。学習の価値観を見出し出して貰うために、「貴方が変わる。人が変わる。地域が変わる。」をキャッチフレーズに取り組んでいる次第である。(東頸城郡牧村公民館)



大きな意見を述べている。(今、市に望むこと) ○若者がUターンできるような職場や職種を多くして欲しい。 ○若者の意見を聴いていかなければならな

若者の理解に努め、共に歩み続けたいと思う。(糸魚川市中央公民館 長)

◆掲載に当たって

今年も人権週間が、4日(休)から10日(休)まで訪れております。そして、10日の世界人権デーに向け、先進市町村行政機関、団体等で各種関連行事が開催されたものと思えます。

「平和のない所に人権は存在し得ない」と言われ、また21世紀は「人権の世紀」とも呼ばれ、重要課題となっております。

そこで、当公民館月報でも、初めて人権・同和問題を採り上げてみることにしました。初めての試みであり、資料紹介、研修報告を主に特集しました。

教育の紹介

第4面 行政関係等より  
会・関フ口公民館研究大会より



主催者あいさつ 野本教育次長様

平成9年度社会同和教育指導者研修会

アトリウム長岡で開催される。

☆平成9・10・28(火)~29(水)

市町村同和行政・社会教育・企業等関係者約100名参加の下、標記研修会は、野本教育次長の主催者あいさつから開会された。主な内容として「新潟県社会同和教育行政について」と題して県生涯学習推進課中曾根副参事より所管事項の説明がなされた。

具体的な施策では、(1)広報・啓発資料の作成配布で、社会同和教育学習資料として「わたしとあなたの今Ⅲ」を作成・配布したこと。(2)推進事業では、①市町村社会同和教育巡回研修会を全市町村対象に実施し、89市町村が終了したこと、②社会同和教育指導者研修会は、本日からの開催であること、③調査指導は3市町村実施予定。今年度から国の施策が変更になり、地对財特法の期限切れの関係で委嘱事業から補助事業への転換、「人権教育のための国連10年」に関する行動計画(別掲)が示され、また人権教育事業の再構成もなされようとしていること等。

「人権教育のための国連10年」に関する国内行動計画

人権教育のための国連10年推進本部

項目	内容
1. 基本的な考え方	・ 人権教育の趣旨、背景 ・ 我が国における人権教育の意義 ・ 人権教育10年に対する基本的理念、目標、取組の留意点
2. あらゆる場を通じた人権教育の推進 (1) 学校教育(省略) (2) 社会教育における人権教育の推進	・ 省略 ・ 社会教育施設等における人権に関する学習機会の充実、識字教育や障害者等の学習機会の充実、指導者養成、資料の作成、学習情報提供、学習相談体制の整備・充実
(3) 企業その他、社会における人権教育等の推進	・ 人権侵害の被害者救済に関する施策の調査・研究、人権教育の実践の調査研究、プログラムの開発、関係人権関係文書の普及・広報、教材・資料等の作成による啓発活動、指導者育成、人権に関する情報の整備・充実、企業等の公正な採用選考システムの確立の指導・啓発
(4) 特定の職業に従事する者(省略)	・ 省略
3. 重要課題への対応	
(1) 女性	・ 「男女共同参画2000年プラン」を踏まえた取組の推進。 ・ 政策・方針決定過程への女性の参画拡大、男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の是正と意識の改革、女性の人権についての教育・研修・啓発活動の推進
(2) 子ども	・ 子どもの人権についての教育・研修・啓発活動の推進、児童の権利に関する条約の趣旨・内容の周知、いじめ問題等についての総合的な取組の推進、児童の商業的性的搾取の防止、子どもの人権専門委員制度の充実・強化
(3) 高齢者	・ 高齢者の人権についての教育・研修・啓発活動の推進、相談体制の整備、高齢者の社会参加の促進、雇用・就業機会の確保
(4) 障害者	・ 障害者の人権についての啓発・広報活動や教育の推進、障害者の社会参加と職業的自立の促進
(5) 同和問題	・ 地域改善対策協議会意見具申を尊重するとともに、「同和問題の早期解決に向けた今後の方策について(平成8年7月26日閣議決定)」に基づき、人権教育・人権啓発事業を推進
(6) アイスの人々	・ アイス文化の振興並びにアイス人の伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律に基づき、啓発を推進 ・ アイスの人々に対する人権侵害の発生を防止するための啓発活動の充実・強化人権相談体制の充実
(7) 外国人	・ 人権相談体制の充実、差別意識解消のための啓発活動の推進
(8) HIV感染症等	・ HIV感染症、ハンセン病への理解を深めるための啓発活動の推進
(9) 刑を終えて出所した人	・ 偏見・差別を除去し、社会復帰に資するための啓発活動を実施
(10) その他	・ その他の課題についても、引き続き施策を推進
4. 国際協力の推進	・ 国連の取組に貢献 ・ 先進の人権関係基金に協力 ・ 開発途上国に対する人権教育関連の協力 ・ 国際人権シンポジウムの開催
5. 計画の推進	・ 計画の推進体制 ・ 人権啓発推進審議会における検討結果の反映 ・ 地方公共団体その他の公的機関、民間団体等の取組への期待と配慮 ・ 計画のフォローアップ・見直し



課題別分科会

課題テーマ	助言者	司会者
1 地域住民・企業内の啓発活動上の課題	新潟県人権擁護委員 春日 道雄	上越教育事務所 社会教育課長 今井基一郎
2 市町村における社会同和教育行政推進上の課題	新潟大学教育学部 助教授 相庭 和彦	中越教育事務所 社会教育主事 飯山 迪夫
3 市町村における社会同和教育研修推進上の課題	新潟県教育庁義務教育課第2指導係長 齋藤 弘治	下越教育事務所 社会教育主事 吉川 一男

# 特集 人権・同和

## ◆推進資料紹介

### 第5面 全国公民館研究集

#### ◆使用用語について

「人権教育」「人権・同和教育」「同和・人権教育」「社会同和教育」、使用用語は、一体どうなっているのか、厳しいご指摘があるような気がいたします。

地対財特法の期限切れ等と、人権擁護施策推進法の制定公布により、只今のところはいろんな用語が使用されているようです。人権擁護審議会の今後の動向によりやがては統合、統一的な用語が出てくるものと考えられますが、文部省では、「人権教育」という用語に傾いておるようです。

#### 第38回関プロ公民館研究集会 第7分科会人権学習発表資料 —佐倉市立志津公民館—

平成8年度 差別の社会学

○開催趣旨

人権問題は、現代社会の様々な場面に関わっていて、国際化や福祉、教育、歴史などの問題を考えるとき、人権の視点を抜きにして語ることはいけません。

「人権問題はいかにたくましいものではありません。自分が気持ちよく、風とおしがいいところで、生きていきたい、幸せになりたいことだと思ふ。」と舟橋聖子の福島聡純さんは語っている。

この講座では、これらを学習することから、難しい話を堅苦しく聞くのではなく、見て、聞いて、ふれて、やってみて日々の暮らしの中で、一人ひとりが人間として尊重される差別のない明るい社会づくりを考える。

○対象・人数

志津地区在住者（佐倉市在住者・勤労者を含む） 39人

○期間・回数 5月25日～2月22日 11回

見学日を除いて土曜日 14:00～16:00

【学習プログラム】

回	学習内容「テーマ」	講師
1	開講式、記念講演「流かなる宇宙」 ～星々の輪廻転生とわが人類～ 【志津コミュニティセンター】	国立天文台広報普及室長 渡部 潤一
2	講義「人権問題を学習するにあたって」 【志津公民館中集會室】	駿河台大学助教授 門馬 幸夫
3	見学「ハム工場と太鼓づくり」を見学して考える 【佐原市】	市役所 同和对策係長 石井 肇
4	映画会「マイ・フレンド・フォーエバー」 ～エイズをテーマとした映画を観て考える～ 【西志津ふれあいセンター】	
5	講義「異文化との共生・共創」 【志津公民館中集會室】	音楽家 李 洋秀
6	平和学習見学会「掘り起こされた歴史」 【大網白里町】	朝鮮人強制連行の真相を調査する千葉県朝・日合同調査団 黒須 俊夫
7	実習「村門、本佐合ウォークラリー」 【瀬々井町隣保館】	部落解放同盟市務局長 鎌田 行平
8	公開講演会「女性の権利はまだ半世紀」 ～メディアに見る女性と男性～ 【志津公民館大集會室】	市役所 同和对策係長 石井 肇
9	講義「子どもの人権」 【志津公民館中集會室】	成田西陵高校教諭 高橋 清行
10	講義「人権・平和を考えよう」 【志津公民館中集會室】	千葉大学教授 野沢 敏治
11	閉講式、記念講演「自己変革のすすめ」 ～いま私は……ひたすら女性に学ぶ～ 【志津コミュニティセンター】	毎日新聞社編集委員 庭川 治樹

#### ※◆事業の企画・実施の留意点

①地域における人権問題の実態を十分把握し、適切な事業展開が図られるようにする。②教育と政治・社会運動との関係を明確にし、教育の中立性が守られるようにする。③これまでの社会教育における同和教育の成果を踏まえ、「人権教育のための国連10年」(別掲)との関連にも留意し、広く人権教育に関する事業として展開を図る。(「人権教育促進事業の運営について」より)



第6分科会での討議

#### 第20回全国公民館研究集会 第6分科会 同和・人権教育報告

主 題 人権を尊重し差別のない明るい社会づくり  
討議の視点

- (1) 差別のない地域社会をめざす学習活動のすすめ方を考える。
- (2) 同和・人権教育の効果的推進を図る公民館活動を考える。

#### 1 基調発表

- (1) 鳥取県赤碕町赤碕地区公民館での取組み ～自主グループ「かたろう会」の設立(1988年設立)～  
町づくり人づくり解放大学講座を通じ養成された、熱意ある同和教育推進者を中心としたグループである。人間としてどう生きるべきかを出発点とし、取り組んでいる。
- (2) 名張市の公民館における事業推進の現状 ～公民館における人権啓発学習の実践～  
市民の学習ニーズを生かし、さらに市教委人権啓発室や県教委同和教育課との連携により、人権問題啓発学習等を中央館や地区館において数回実施している。

#### (3) 課題、展望

- ① 各地区の同和教育実践推進会議設立等、推進体制の充実を図る必要がある。
- ② 人権啓発の日常化と住民の連帯意識をかん養し、住みよい地域づくり町づくりのために公民館を拠点としている。

#### 2 討議内容

- (1) 差別のない地域社会をめざす学習活動のすすめ方を考える。
  - ① 就職、結婚問題等同和問題のかかえる現状について、地域住民に対する学習の機会を作ることが必要である。さらに、人権教育の日常化を図ることが望まれている。
  - ② 地区公民館にて、地区を越えた交流活動として同和問題も含めたミニ集會等を開催し、更なる交流につなげる。
- (2) 同和・人権教育の効果的推進を図る公民館活動を考える。
  - ① 行政課題を主体に住民課題を組み合わせることで、効果的な人権教育を進める。
  - ② 地域性を生かし、同和問題と人権問題をどうつないで学習課題とするかを考えるべきである。
  - ③ 公民館を中心に、各種団体との交流を図りながら、地域のネットワークづくりをめざし、人と人との出会いとつながりを大切にす。

#### 3 助言者のまとめ

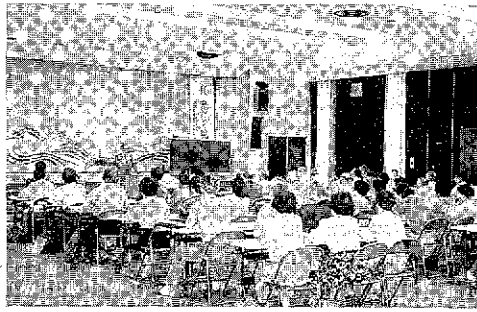
- (1) 同和問題、人権問題の取組みには地域により差異がある。実情にあった公民館活動を工夫し、生き方につながる「心にひびくものがある活動」となるよう取り組む。
- (2) 日常の中で人権を意識し、人間にとって大切なものは何かを求め、「生き合う力」と「生きがい」を公民館活動の中で高める。
- (3) 人と人が生き合う力を求め、地域の人権構想力を作り出すことが求められる。
- (4) 生きがいを求め自分の生を充実させるために、生涯学習において人権問題を押し進めることが大切である。

# 実践記録シリズ(20)

生涯大学システム、モデル広域学習圏事業

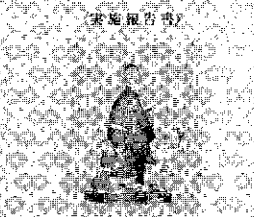
## 良寛講座

### 良寛ゆかりの里再発見



第1回講座「良寛と現代」

## 良寛講座



出雲崎町中央公民館  
与板町公民館  
和島村公民館

出雲崎町中央公民館  
与板町公民館  
和島村公民館

◇各講義の主な内容骨子  
第1回「現代と良寛」

・良寛愛語会会長  
・於 出雲崎町中央公民館  
大矢 良広先生  
◎内容骨子  
・生涯行乞(歩かなくなった現代人)  
托鉢は仏教修行の原点  
乞食し弘法する 相互布施  
・生涯素食 曲座訓練 赴粥  
飯法 かゆ十徳 三  
心(喜心、老心、大  
心)を隠し味 五味  
五法、五色のバリ  
エーション  
・生涯学習 雑炊  
宗(仏・儒・道教か  
ら神道まで) 詩・  
歌書のいづれにも良

寛ならではの個性  
・生涯青春  
維繫尼への思いやり  
貞心尼との唱和  
性差を超越した慈愛  
・結び  
自然を問い直し、時代が違う  
ではすまされない生き方  
第2回「良寛と父以南」  
・全国良寛会参与  
駒谷 正雄先生  
・於 与板町「楽山亭」  
◎内容の概要  
良寛の父以南生誕の地、与板  
町の江戸時代越後屈指の豪商  
であった「楽山亭」において、  
全国良寛会参与の駒谷先生をお  
迎えしての講義は、大変好評  
だった。  
第3回「良寛と貞心尼」



第4回講座ゆかりの地を訪ねて

・県立文書館嘱託員 高橋 郁子先生  
・於 和島村保健センター  
◎内容骨子及び資料等  
(1)貞心尼の生涯  
(2)「蓮の露」とその他の良寛詩  
歌集  
○漢詩・自作集  
・「草堂集」鈴木桐軒 鈴木文  
台編  
・「良寛同人遺稿」 蔵雲和尚  
編  
○和歌・日筆稿本「ふるさと」  
・「良寛禅師直筆和歌」木村家  
・「くがみのうた」  
(3)貞心尼と僧遍澄  
・貞心尼  
……「蓮の  
露」を残す  
・遍澄……  
生前の良寛  
の世話をす  
る。良寛の  
肖像画を残  
す。  
他の人の  
良寛歌集に  
資料提供。  
第4回  
「史跡めぐり」  
——良寛  
ゆかりの地  
を訪ねて——  
・元県立

新潟中央高校教諭 谷川 敏朗先生  
・於 柏崎市・洞雲寺他  
◎内容の概要  
(1)洞雲寺(貞心尼墓)  
○貞心尼は良寛没後、福島の  
閻魔堂から柏崎の洞雲寺に移  
り、晩年は不求庵で過ごし、明  
治5年75歳で生涯を閉じた。  
貞心尼の墓は、洞雲寺墓地  
奥の木立に囲まれて建つ。  
(2)不求庵跡 貞心尼終焉の地  
(3)釈迦堂跡 貞心尼が庵主  
谷川先生の解説が好評だっ  
た。(資料提供、前和島村公民館  
主任、早川 泰様)

### 三町村合同「良寛講座」受講者募集!!

良寛ゆかりの出雲崎町・与板町・和島村合同で良寛講座を下記日程  
で開講いたします。皆さまのご参加をお願いいたします。

1. 日時・内容・講師・会場

日 時	内容・講師	会 場
6月23日(日) 午後1時30分～	「良寛と現代」 良寛愛語会会長 大矢 良広先生	出雲崎町中 央公民館
7月7日(日) 午後1時30分～	「良寛と父以南」 全国良寛会参与 駒谷 正雄先生	与板町・山 楽亭
8月25日(日) 午後1時30分～	「良寛と貞心尼」 新潟県立文書館嘱託員 高橋 郁子先生	和島村保健 センター
9月21日(土) 午前9時～	史跡めぐり ——谷川敏朗先生と共に良寛ゆかり の地を訪ねて——	柏崎市

2. 参加者 無料 (ただし、史跡めぐりは、昼食代・見学科等3,000円  
程度必要です。)  
3. 募集人数 60名(各町村それぞれ20名)  
4. 申込み 申込書により各町村の公民館へお申し込みください。  
○出雲崎町中央公民館 ☎78-2250  
○与板町公民館 ☎72-3945  
○和島村公民館 ☎74-3111

# サークル交流

## みんなで手作りの遊びを

### 遊びの達人委員会

私たち「遊びの達人委員会」は、地元豊栄市民を中心に20代〜30代前半の約20名で毎週木曜日の夜、豊栄市中央公民館で活動しています。

活動内容は月1回発行の「遊びの達人通信」の作成、月1回休日の遊びのイベントの企画等です。コーヒーとおかしを並べ



て和気あいあいと、会議をしています。遊びの達人通信は、編集委員を中心にみんなで手作りする様子を、ナー、

イラスト、マンガと盛り沢山で毎月完成が楽しみです。

イベントは企画から実行まですべて自分達で行っています。

恒例イベントは4月のお花見、7月のキャンプ、冬のスキー等がありますが、その外に今年5月の登山、9月の陶芸、11月のそば打ち体験等、ちょっと変わった企画もしています。今冬の一大企画は「国際雪合戦」に出場することです。

「遊びの達人」に興味のある方気軽に遊びに来て下さい。どなたでも大歓迎です。  
(豊栄市中央公民館)

橋本 有理 (記)  
明るく楽しい生活を築く大正琴

やまがら会

「やまがら」は住民に親しまれているところから、村の鳥に指定されました。それ等の意味も含め、当サークルの名称としました。

高齢化社会の中で、だれもが幸せと生きがいを求めて努力しておりますが、生涯にわたって何かを学ぶという気遣いと志向をもって生きるとは、とても素



晴らしいことです。

その大きな課題に対し、大正琴の果たす役割は多大であり、明るく楽しい生活を築く一翼を担うものと確信しております。

生まれて一年余の若々しいサークルですが、発足当初は三名で、広報、口こみなどから徐々に入会者も増え目下九名で毎月二回(第二・第四金曜日)の練習を行っております。

先生は阿賀北から東蒲の山間地までお運びいただき、その熱意に感銘を覚え、全員昼夜練習に励んでいる様子が伺えます。

来年度は海外に目を向け、この小さくて身近な楽器を通して一層人生を楽しんで参ります。  
(三川村公民館運営審議会委員 庄司 道記)

## 十日町市公民館主任

### 社教主事 櫻沢 秀子 様

十六年間市立保育所の保母を経験した後、議会事務局、税務課市民税係勤務を経て平成六年四月から現職。

主に高齢者学級(明石学級)を担当してもらっている。他に女と男、共につくるライフスタイルを考える「共立セミナー」や家庭教育学級も担当し、まさに大忙しの人である。今日も櫻沢さん居ませんか」と



今日も櫻沢さん居ませんか」と

事務室に高齢者の声が朝から聞こえてきています。明石学級生二百三十余名のみならずのお世話をし、日々飛びまわっています。高齢者はじめ、小さな子ども(経験上手慣れてはいる)まで多くの公民館利用者の信頼も厚く、土日曜日出勤や、夜遅く吐かず、いつもの明るい性格ではりきって仕事をこなしている。女性の日にとらえ、よりきめ細かい事業も必要なとき、公民館にまさに最適な人です。  
(十日町市公民館副館長 小林 宏行 記)

## 素顔 拝見

### 牧村教育委員会社教指導員

#### 梨本 りよ子 様

秋田美人、頭の回転ピカイチ、人を引きつける魅力抜群、我が公民館の女性館長……そんな梨本さんは、秋田県仙北郡協和町出身、日本一美味しい「秋田小町」を食べ育て育ち、今の御主人と東京で知り合い、我が牧村に嫁いで来られました。



彼女の仕事ぶりをつぶさに見ていると、計画から展開、そして評価までの手際の良さには目をみはるものがある。一例を挙げると、学級・講座の開設にあたっては、対象者の意見を十二分に聞き、開設三年後には自主グループが次々と誕生してしまおう。

まさに社会教育のエキスパートの梨本さん、我々の鏡である。  
(牧村教育委員会 今井 勇 記)

# ネットワーク

## 恵贈資料紹介

### 「文芸むらかみ」第十八号

文芸むらかみ編集委員会  
村上市教育委員会

### 「文芸さんぽく」第十三号

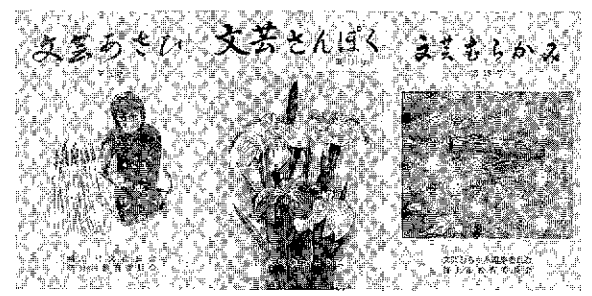
山北町教育委員会

### 「文芸あさひ」第三号

朝日村文化協会  
朝日村教育委員会

県北の三市町村より、それぞれ時期を同じくして文芸誌が恵送されて参りました。発刊からの歴史的経緯はそれぞれ長短ありますが、内容面で

はいずれも随筆、短歌、俳句、川柳、詩、コント、評論、小品等から構成されており、誌面を通しての投稿者、読者の心の交流が図られておるようです。



## 公民館冬物語

上村捨二郎著

(有)東新印刷

県公連取扱い  
送料二四〇円



著者は皆様既に存じの県公連前事務局長の上村先生です。

大学時代に社会教育を専攻され、二度にわたる県教委社教課勤務時も、社会教育施設とくに公民館を担当され方です。

いったん学校現場管理職に展開・退職後、県公連事務局長に就任され、その筋道立った理論と豊富な実践体験を基に、県公連の発展を支えて来られました。今春、事務局長勇退

されたのを契機に、通算十数年にわたる県教委・県公連時代の足跡を振り返られると共に、今般しい状況に置かれていた公民館の現況を客観的に分析され、今後の方向づけをされております。

具体的な実践例が分かり易く記述されており、読み始めると一気に終章まで読み終えるという本です。店頭に出したい本ですが、事務局に30部程あります。

## 学社連携・融合の推進事例紹介

### 与板町教委・派遣社教主事

#### 五十嵐力先生の発表から

県派遣社会教育主事 研究協議会研修会が9月、豊栄市で開催され、全体会の指導に当たられた下越教育事務所羽田野社教課長様の情報に基づくものです。私ども県公連でも7月の県大会で学社融合をテーマに討議を深めたところですが、県派遣社教主事研修会の中でも実践発表されたら聞き及んだ時、関係者として実に驚きと喜びと

敬意の念を抱いた次第です。標記五十嵐力先生の発表概要は、与板町生涯学習基本計画・学習計画の中でとらえ、社会教育事業における学社連携・融合の進め方、また学社連携・融合の今後の課題、対策及び効果にも触れられており、その先見性と勇断にも敬意を表する次第です。添付されている資料も大変豊富で、また適切なものと思われまふ。その中でも、資料5「にいがた社会教育」No.67、「連携から融合へ」工藤智規様のことばが、原典として光っております。

### あとがき

◇ お詫び、11月号視点、白川昭夫様のお名前を誤記しました。昭夫とありますが、昭夫に

### 表紙解説

#### 西山ふるさと公苑

平成九年五月に竣工し、西山町の観光と文化情報の発信地、そして友好提携を結んでいる中国淮安市との交流の拠点で、「西山ふるさと館」、中国の伝統的な宮殿建築「西遊館」、中国風庭園「西遊園」があります。(西山町公民館)

◇ ご訂正ください。平成9年もあと十数日で去ろうとしております。それでは、皆様方良い年をお迎えください。(鈴木記)

発行所 新潟県公民館連合会  
〒951  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【TEL・FAX (025)224-6073】  
発行人 会長 今井昭友  
編集人 事務局長 鈴木友大  
【定価1部150円 共々・年極1,800円】